

ゆらの通信

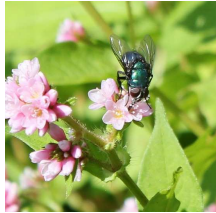
Vol.22
平成27年10月

10月1日。由良野の森では、夜な夜な栗の実を求めてイノシシが走り回っています。日中は森にたくさん増えてきたミゾソバの花に、蜜を求めてたくさんの虫たちが集まってきました。羽音が賑やかなその上を、トンボやスズメバチが捕食の為に飛んでいます。冬に追われて渡り鳥が南下するこの季節は、生き物たちにとって春よりも賑やかで忙しい時かもしれません。この夏森には「ゆらの」の活動以外でも数えきれないほどの来訪がありました。通信ではお伝えできませんが、ますます子どもたちの声が響き、大人は大きく深呼吸ながら「放人」される空間になってきました。会員の皆様、ぜひこれからの涼しい季節にも森に足をお運びください。

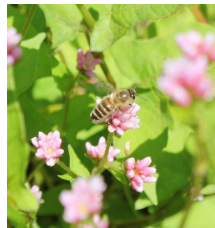
左はアカネの花
右はミゾソバ



ミゾソバに集まる虫たち



ハエも？



ミツバチは越冬の蜜集めに大忙し

フジバカマに
ツマグロヒョウモン



この春植えたブルーベリーに実が生っていました

2015年5月17日 ツリークライミング

会員の福島さんにツリークライミングを見せて頂きました。片足でロープを踏み下ろしながら少しずつ登って行きます。木の上から見渡す景色はどんな世界でしょう？「ゆらの会員」向けのツリークライミング体験は11月29日（日）に開催予定です。詳細は追ってお知らせします。



2015年5月20 パステル工房さんの藍染

月に2回程、ゲストハウスの掃除に来ていただいている共同作業所のパステル工房さん。何度か藍染の作業に来られています。デザインがびっくりするほど个性的で毎回作品を見るのが楽しみです。野鳥のさえずりを聞きながらの作業はとても楽しそう！



2015年5月24日～ ゲストハウス壁のペンキ塗り

6月の総会に向けて始まったゲストハウスのペンキ塗り直し。壁の塗料は10年の年月ですいぶん痛んでいましたが、会員の皆さんのお力を借りながら美しく蘇りました。10年前にもお手伝い頂いたことを思い起こしながら、多くの方の力添えで由良野の森が成り立っていることを実感しました。



2015年6月7日 午前 会員親睦のピザパーティー

ゆらの総会前に参加者全員でピザづくりをしました。いろいろな形に作る人、トッピング、ピザを焼くこと、お話、食べるそれぞれ思い思いに楽しみを満喫していました。窯の煙の香りの中、ニワトリたちと共に・・・ 一部では同窓会も行われていました。



2015年6月7日 午後 ゆらの総会

会員の皆様のご協力の中、今年もスムーズに総会が迎えられたことに感謝いたします。午前の流れのまま、本年の総会もゆったりした感じの中行われました。「ゆらの」の発起人の一人甲斐義孝さんに見守っていただく中、今後の展開などの提案をもとに話し合いました。清水秀明前代表は顧問・事務局鷺野宏は代表・久万川江利子は会計・監査は宮内一・理事に清水美保子・久万川重宏・鷺野陽子。以上の新体制で進めて行きます。よろしくお願い致します。



2015年6月8日から1週間 Wwooferの受け入れ

今回は英国から連絡があり、日本人の淳一さんと奥さんのサリーさんが1週間滞在されました。桑の実採りが忙しいこの時期、ジャムにするまでの工程を手伝っていただきました。サリーさんはアーティスト。今年のジャムはサリーさんの手書きのラベルです。



Wwoof ウーフとは「ワールド・ワイド・オポチュニティーズ・オン・オーガニック・ファーマーズ」の頭文字で、「世界に広がる有機農場での機会」の意



2015年6月13日 子ヤギたちの旅立ち

この春産まれた子ヤギたち3匹が旅立ちです。いつも母ヤギと離れるときはお互い呼び合う鳴き声が森に響き感傷的になる一瞬です。お手伝いに来てくれていたWwooferの淳一さんと共に、いつもヤギや羊のことでお世話になっている、町内の井部さんに預かってもらいに行きました。彼らは井部さんに10日ほど預かってもらった後、愛媛県立農業大学校に引き取られ、大切に飼っていただいています。



2015年6月23日 Wwooferのマイケル再びお手伝いに

4月にお手伝いに来てくれていた、アメリカ人のマイケル。歩き遍路を終了し、日本での仕事も見つけてまた手伝いにきてくれました。今回もいろいろ手伝ってもらい助かりました。作業以外の時間はずっと日本語の勉強をしていて、2か月前よりずいぶん日本語も上手になっていました。成長していく23歳の彼から学ぶことは大変多い1週間でした。

畑のじゃがいもを洗ってます



桑の実を食べているニワトリと共に…染料のアカネの手入れ



草刈機は初体験だそうです

2015年6月19日～29日 ゲストハウスの屋根塗り替え

ゲストハウスの屋根は、壁と同様に塗装も随分痛んでいたのが急遽塗り直すことにしました。会員の秋山さん・松山の高橋塗料さんにご協力いただき、しっかりと塗装修理が出来ました。これからまた10年、風雪からゲストハウスを守ってもらいます。



2015年6月30日・7月1日 地元久万中学校1年生 藍染体験

毎年地元の久万中学校1年生が、集団宿泊訓練のプログラムの中で藍染め体験に来て下さっています。梅雨時期なので天気は選べませんが、生徒たちも先生方もとても楽しそう。普段は会う機会のないたくさんの中學生と時間を共有できる、貴重な一時です。



染が終わった子たちはヒツジ見学。女子にはリキが人気。



藍染よりも、池の生き物が気になる子たちもいます。



2015年7月2日 池のヒメボタル今年も乱舞

数年前からたくさん見られるようになったヒメボタル。今年も何とか写真に写っていたので報告致します。二名川で観られるゲンジボタルに比べると、小さく上品な光の点滅に「ヒメ」と名付けた方の感動が感じられます。

*注 ここに生息していることは内諸にしておいてください。



2015年7月15日 彩雲

空を見上げるとたまに見つける彩雲。毎回虹を見つけた時と同様に見入ってしまいます。由良野にはヤギやヒツジ・ニワトリ他にも生き物がたくさんいますが、この感動を共有できるのは人だけでしょう。それとも彼ら生き物は、普段からもっとのんびり違う視点で時間を楽しんでいるのでしょうか…？

たぶん…とっくに移ろいゆく自然に溶け込んでしまってるのでしょうかね！



2015年7月30日 由良野の森のニワトリたち

この写真誰が撮ったのか不明ですが、管理人夫婦を追いかけてきています。この冬に30羽いたニワトリは、この時点で10羽になっています。放し飼いにしているので20羽すべてキツネの胃袋に入っていました。今年はカラスも大胆になり、どうしても卵をとられてしまいます。それでも放し飼いを続け、彼らとの創造的な共生を図るため現在対策中です。結果報告は来年春の予定。



2015年8月2日 松山の「うどん坊さん」による 第8回手打ちうどん体験

昨年出来なかった手打ちうどん体験。今年は天気にも水にも恵まれて大好評。毎年もれずに参加の方も今年初めての方も、みんなで作っておいしく頂きました。毎年8月の第一日曜日に来て下さっている中塚さんご夫妻には、本当に贅沢な時間を頂いています。心より感謝申し上げます。



2015年8月9日 由良川の沢登り

わざわざ行かないと体験することのない沢登り。夏休みの一日たくさんの皆さんで行われました。4歳の子も一人で頑張った沢登り。ゴールした時の笑顔は最高でした！午後は薪を燃やして炭を作り、もち寄った食材でバーベキューと飯盒炊飯。子どもたちはターザンロープやツリーハウスを満喫。米国からボーイスカウトの少年たちの参加もありました。日本の自然を楽しんでもらえたかな？



2015年7月28日～8月17日 養蚕体験

今年再開しました…桑の葉だけで絹の糸を吐く蚕。

最終5齢で病気が発生。糸を吐きながら固くなって死んでしまう！！以前からお世話になっている、県の農業指導員で元養蚕専門の菊池さんに相談しました。「スケバハゴロモ」という桑につく「蛾」が媒介する病気「白きょう病」と判明。すぐに処置し、何とか半数を「繭」にすることが出来ました。奥が深い養蚕1000年の歴史です。

合宿中の高校生も体験！



この大きさで3齢です



病気になった蚕



2015年8月14日 ペルセウス流星群の夜

危ないほど大きな流星が、バンバン降っていましたね！アマチュア写真家の葛原さんに教えて頂きながら写真撮影を試みましたが、残念写っていません。ピンボケですが、それでもたくさんの星は写っていました。実際由良野の森の星空は、こんな風に見れてとても美しいです。皆さんもぜひ泊りがけで星空を！！



2015年8月28日 繭の糸引き体験（何とか残った繭で急遽開催）

「蚕まゆから糸をひく・・・」これが絹（シルク）。かつて中国で秘伝とされていたため、この光る美しい糸はシルクロードを渡り、ヨーロッパで東洋の神秘と珍重されました。どんな風に糸になるのか・・・手と目と体で感じる良い機会となりました。



2015年9月4日 羊のお嫁さんやってくる

春に伴侶を亡くしてしまった雄羊のリキの為に、広島福山からしまなみ海道を渡り瀬戸の花嫁ヒツジは軽トラに4時間揺られてやってきました。色白美白の美羊？管理人の妻が迷わず名付けた名は「ノア」。いつものように直観ですので、理由は無しです。

しまなみを渡っています



やっと到着
さあさあこちらへ！



仲間とご対面です



リキはいきなり
アプローチです。

2015年9月15日 はじめてのイノシシ解体

今年「わな」の狩猟免許を取得した管理人に、地元猟友会の世話役の方が「剥いて食うてみる？」と2頭の小さなイノシシを頂きました。電話がかかって30分後に始まった初めての解体。たまたまたくさんの親子連れのお客さんが来ていたので、いきなり食育です。会員の男性たちに手伝っていただきながら何とか2頭のお腹を出しました。さっそくハツとキモはすべて居合わせた子どもたちの胃の中に・・・

「とても美味しかった」そうです。

皮を剥ぎ、部位に解体まで夜中の2時までかかりました。お肉を口にするのは大変な作業です。



この場をお借りして・・・
猟師の先輩、会員の松田さん！
次回のご指導よろしくお願いします。

2015年9月6日 松林の手入れ

「せっかく松林があるのだから・・・。」ということで始めた松林の手入れ。午前中にピザをお腹いっぱい食べて、午後から作業です。事前に刈っておいた草木をみんなで集めて片づけていきます。子どもたちも夢中で手伝い、ずいぶんすっきりしました。これから毎年やって行きましょう！



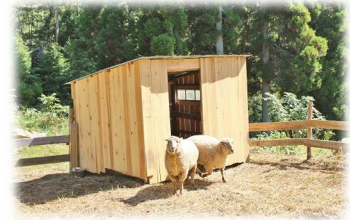
ミニコンボも大活躍

こちら片づけ前

そして片づけ後

ツリーハウス 羊小屋 ゲストハウス玄関

ツリーハウスにやっと柵とハシゴが完成。 ゲストハウスの入口（石のタイルはり）も完了。近親交配を避けるため、羊の娘たち「メエ」と「シippo」の仮設小屋も完成しました。



2015年10月 秋の空

秋晴れの澄み切った風。天高く広がる空。その青を抱く森の稜線。10年経つ森が育ち、秋の小さな花が虫たちの楽園になっている森の小径を歩きました。これからが紅葉の季節です。



寄付のお礼

「ミニコンボのツメ・ゲストハウス屋根・壁の塗料資材一式」を清水秀明さん。「木材運搬車」を鷲野哲也さん 「餅つきセット」を二神健吾さんにそれぞれ寄付していただきました。杉本晃隆さん、松浦恵子さん、岩本純一さん、鶴見哲也さん、石井喜久子さん、牛谷時夫さん、松田貞夫さんに寄付をいただきました。ゆらの基金箱に寄付を頂いた皆さんにもこの場をお借りしてお礼申し上げます。大切にさせていただきます。

